

言語活動及び「言語活動を通した」指導の充実を目指したデジタル教科書を活用した好事例

考えや気持ちを伝え合う際の、適切な表現へと高めるツールとしての活用

本事例では、同じ中学校区にある他校の5年生に、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりすることを目的として、学級紹介（自己紹介）ムービーを作成する。相手の印象に残るように、どのような内容にするのかを考える上で、一つのモデルとしてデジタル教科書の表現内容を参考にしている。指導の個別化を図り、児童が適切な表現内容を思考・判断する過程を通して、考えを再構成しながら、自分のことを話すことができるようにしている。



単元名：南中校区の友だちと交流しよう～その1「5の1紹介ムービー」
(One World Smiles 5 Lesson2 When is your birthday?)

■単元の目標

同じ中学校区にある他校の5年生に、自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、名前や好きなもの、誕生日等について、具体的な情報を聞き取ったり、伝えようとする内容を整理した上で自分のことを話したりすることができるようにする。

■本時の目標

自分のことをよく知ってもらうために、友だちの発表や教科書の自己紹介を聞いたり、自分の発表をタブレットでふり返ったりする活動を通して、内容を整理しながら自己紹介することができるようにする。

■本時の展開

- ・グループで1回目の自己紹介をし合う。(端末で撮影しておく)
- ・「もっとよく知ってもらえる自己紹介にするためにはどうすればよいか」「印象に残る自己紹介になっているか」という視点から、表現内容を見直す。
- ・別のグループで2回目の自己紹介をし合う。(端末で撮影しておく)
- ・**デジタル教科書の参考になる部分を教師が提示し、それを基に自己紹介に付け加えられそうな内容がないかを考え、表現内容を再構成する。**
- ・別のグループで3回目の自己紹介をし合う。(端末で撮影しておく)
- ・前時と本時の動画を見比べて、気付いたことや自身の変化を振り返り記述する。

学校名：佐伯市立上堅田小学校